

人間環境大学

# 大学院案内

令和7年度 入学案内



いのち・こころ・環境の未来を創造する大学

人間環境大学

UNIVERSITY OF HUMAN ENVIRONMENTS

「いのち」「こころ」「環境」を学び、  
実践する力を培う大学へ

人間環境大学 学長  
牧山 助友

2007年～2011年 東京学芸大学副学長  
2011年～2016年 日本芸術文化振興会審議役  
2016年～ 現職

◆学会・社会活動など  
大学行政管理学会会員・教員養成評価機構理事  
同 評価委員会委員・教育支援人材認証協会理事



2023年4月 松山看護学研究科を開設しました。

1999年12月 人間環境大学人間環境学部人間環境学科設置認可  
2000年04月 人間環境大学開学



人間環境学部人間環境学科開設  
2002年12月 大学院人間環境学研究科人間環境専攻(修士課程)設置認可  
2003年04月 大学院人間環境学研究科人間環境専攻(修士課程)開設

附属臨床心理相談室開設

2009年09月 環境教育センター開設

2014年01月 学校法人河原学園となる

2014年12月 看護学部看護学科設置認可

大学院看護学研究科看護学専攻  
(博士前期課程・博士後期課程)設置認可

2015年03月 大府キャンパス開設



2015年04月 大学開設15周年

看護学部看護学科開設

大学院看護学研究科看護学専攻

(博士前期課程・博士後期課程)開設

2017年04月 人間環境学部心理学科開設  
人間環境学部環境科学科開設



松山看護学部看護学科開設

松山キャンパス開設

大学開設20周年

大学院看護学研究科 助産師養成課程 開設

心理学部心理学科・犯罪心理学科開設

環境科学部フィールド生態学科・環境データサイエンス学科開設

総合心理学部総合心理学科開設

松山道後キャンパス開設

大学院松山看護学研究科看護学専攻

(博士前期課程・博士後期課程)開設

2022年04月 総合心理学部

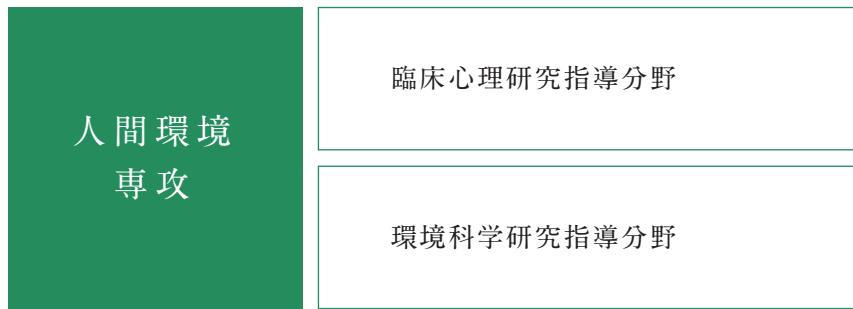
総合犯罪心理学科開設

総合環境学部

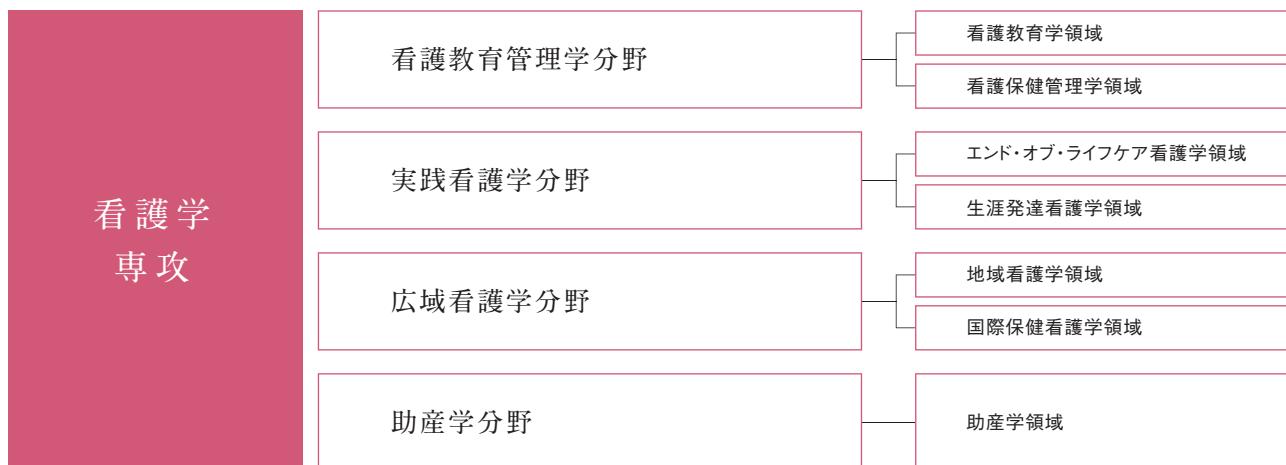
フィールド自然学科・環境情報学科(仮称)

開設に向けて届出申請中

## 大学院 人間環境学研究科 〈修士課程〉 (愛知県・岡崎キャンパス)



## 大学院 看護学研究科 〈博士前期課程〉(博士後期課程) (愛知県・大府キャンパス)



(養護教諭専修免許状 取得可能)

## 大学院 松山看護学研究科 〈博士前期課程〉(博士後期課程) (愛媛県・松山キャンパス)



## Contents

### 人間環境学研究科 〈修士課程〉

03 人間環境学研究科 Topics  
臨床心理士合格実績 /  
指導教員からのメッセージ

04 看護学研究科 Topics  
助産学分野の特長 /  
修了生からのメッセージ

### 看護学研究科 〈博士前期課程〉(博士後期課程)

05 研究科概要  
06 環境科学研究指導分野  
環境科学研究指導分野教員紹介  
07 臨床心理研究指導分野  
08 臨床心理研究指導分野教員紹介  
人間環境専攻共通科目担当教員紹介

### 松山看護学研究科 〈博士前期課程〉(博士後期課程)

09 教育の理念 / 分野紹介  
10 看護学研究科領域紹介  
11-12 看護学研究科教員紹介

13 教育の理念 / 分野紹介  
14 松山看護学研究科教員紹介

# 人間環境学研究科（修士課程）



## 修士課程



## TOPICS

### 臨床心理士

日本臨床心理士資格認定協会資格試験

本学大学院修了生（受験者）の合計合格率

**93.4%** を達成!

（参考）全国平均合格実績 令和3年度65.4% 令和4年度64.8%

合格者は臨床心理士として、単科精神科病院、総合病院・大学病院の精神科、メンタルクリニック、児童福祉関係機関、教育機関（小・中学校のスクールカウンセラーなど）などで活躍しています。

### 実習重視の研究環境

大学付設の臨床心理相談室や学外の精神科病院、メンタルクリニック、学校・施設などでも積極的に実習を行っています。

### 人間環境大学附属臨床心理相談室

人間環境大学附属臨床心理相談室は、子どもたちをはじめとして、さまざまな「こころ・からだ」の問題を抱える方への相談室として開設され、毎月延べ100件を超えるクライエントへの心理相談（カウンセリング）を行い、地域に貢献しています。また、この相談室は、人間環境大学大学院の実習施設でもあり、本学大学院生が、未来の臨床心理士を目指し、教員の厳しい指導のもと、カウンセリングや遊戯療法に取り組んでいます。

## 教員からのメッセージ

### 心理臨床の

基本的な姿勢を身につけるとともに、

心理臨床の仲間を作る

臨床心理士／公認心理師を目指す人の多くは、大学院で初めて直接クライエントに関わります。それは一人前のセラピストになるための長い道のりの第一歩です。その第一歩をどのような環境のなかで踏み出すかは、その後のあきかたに大きな影響を及ぼします。人間環境大学の大学院では、何よりも心理臨床の基本姿勢をしっかりと身につけること、そして心理臨床の仲間を作ることをしていただきたいと思います。



教授 高橋 藏人

臨床心理士・公認心理師

名古屋大学博士（心理学）。  
精神科医療機関を中心に養護施設や産業領域でも心理臨床経験を積み重ねる。専門は心理療法、カウンセリング学。

## 教員からのメッセージ

### 「こころの支援」の在り方を学ぶ

本学大学院を修了後、精神科医療領域や児童福祉施設での臨床経験を積み、名古屋大学大学院博士後期課程を経て教員として戻って参りました。

本学大学院は、開学時から臨床心理における指導が丁寧に行われています。さらに本学附属の研修施設である「臨床心理相談室」では、子どものプレイセラピーから成人の心理療法を実践的に学ぶ環境が整っています。心理職は、危機的な状況のときほど必要となる職種です。そのため、絶えず「こころの支援」の在り方を学び続けることが大切です。修了後、心理職として活躍できる力を養う、そんな環境がここにあります。



助教 米澤 由実子

臨床心理士・公認心理師

名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程単位取得満期退学。公立小中学校のスクールカウンセラー、精神科医療機関、児童養護施設での勤務を経て現職。子どもや保護者の心理支援、心理教育に関する研究に取り組んでいます。

# 看護学研究科（博士前期課程）（博士後期課程）



## TOPICS

**2020年4月、**  
愛知県内の私立看護系大学院で初めて「助産師養成課程」を開設。

人間環境大学は、学部、大学院博士前期課程・博士後期課程の三課程を有する日本で数少ない総合看護教育機関であり、系統的な教育により専門性の高い高度実践を適応する助産師育成の実現が可能です。

博士前期課程修了後に、博士後期課程において、さらに深く発展的に将来の助産学の研究者として学修を重ねることもできます。

これからの助産師は、正常産のみならずハイリスク妊婦・新生児への対応や女性の生涯にわたる健康問題への対応能力、そして周産期医療の課題を分析して変革する視点をもつことが求められています。人間環境大学大学院看護学研究科では、修士の学位をもち、エビデンスに基づく高度助産実践能力を発揮して、本学が立地する大府市近隣を中心とした地域に視野を広げ、現状を分析できる研究能力を備えたリーダー・管理者・教育者を目指す助産師を育成します。



人間環境大学 大府キャンパス

### POINT 1

#### ハイリスクに対する 助産実践の強化

正常産を自律して診断し、  
さらに緊急・異常時に対応できる  
臨床推論力を培います。  
社会的課題に対応できる身体的・  
心理社会的ハイリスクに対する  
助産実践を強化します。

### POINT 2

#### 対話力の強化 臨床心理研究指導分野 との共同演習

生命と人間を尊重し、  
性と生殖に関する健康や  
権利および意思決定、  
さらには倫理的問題に対応できる  
能力を育成するために徹底した  
対話力の強化を図ります。

### POINT 3

#### 臨床のリーダーとなる コーディネート力

助産師としてのリーダーシップを  
発揮し、他職種と連携・協働・  
調整ができる能力を  
育成するために、  
臨床助産のリーダーとなる  
高度助産実践を強化します。

### POINT 4

#### 取得学位 修士（助産学）

母子保健や周産期を取り巻く  
さまざまな課題をとらえ、  
助産ケアに取り組む能力を  
育成するために、  
臨床に応用・還元できる  
助産学研究を指導します。

## 修了生からのメッセージ



看護学研究科  
博士前期課程 修了  
曾我 紗衣 さん

生命の尊さ、素晴らしい魅力を感じ、私も生命の誕生の瞬間に立ち合い、家族が増えて新しい生活への第一歩に寄り添える助産師になりたいと強く思い助産師を目指しました。

大学院で助産師を目指す魅力は、研究を通して助産実践ケアを様々な視点から考えることができます。本学では、正常産だけではなく、ハイリスクにも対応できる実践能力を身に付けられることや、妊産婦だけではなく、女性の生涯の健康問題にも視野を広げ、臨床に応用・還元できる学びがあることにも魅力を感じていました。授業では、少人数でのディスカッションを行い、自分の意見や考えを問われる機会が多くありました。また、大学院は少人数のため先生方にも積極的に質問でき、日々知識が増えていくことで助産学の楽しさを感じました。

将来は、ハイリスクにも対応できるよう幅広い知識と技術をもち、妊産婦さんや家族に寄り添える助産師になりたいと思っています。



人間環境学研究科長  
三後 美紀

「人」と「人をとりまく環境」について総合的に研究します。

人間環境学研究科には、「臨床心理研究指導分野」と「環境科学研究指導分野」があります。臨床心理研究指導分野は、日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定大学院であり、修了後には臨床心理士資格試験の受験資格が得られます。そのため、大学院開設以来、多くの臨床心理士を養成してきました。臨床心理士となった修了生は、単科精神科病院、総合病院、大学病院の精神科、メンタルクリニック、児童福祉関係機関、教育機関（小中学校のスクールカウンセラーなど）などで活躍しています。また、新たな国家資格「公認心理師」の受験資格に対応した科目も整備しています。精神やこころのはたらきを、表出される言葉や行動のみでなく、夢やイメージなど無意識の探求を通じて解明します。病院、施設、学校などにおける実習が充実していることも特長です。

また、環境科学研究指導分野では、環境問題に関する総合的な知識と洞察力を習得すべく、環境と関わる人間とその活動について探求します。

臨床心理士・公認心理師。  
名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程単位取得満期退学。

## 教育・研究の理念

人間にとっての「環境」とは、単にその中に存在し活動するといった意味をもつだけでなく、自らが創造し利用するといった意味ももっています。しかし、地球温暖化や家庭崩壊といった現代社会の抱える問題に代表されるように、人間と環境の関係は危機的な状況にあります。そして、このような結果を招いた背後には、人間と環境の関わりを単純な関係に還元して理解してきた近代科学や学問研究のありかたに根本的な問題があると考えられます。さらには、新たな脅威となった感染症蔓延に対しても、私たちは新たな生活様式の構築が求められています。

このような認識に立脚して、人間と環境の関わりを問い直し、学問の根本からの改革を実現していくことが、本研究科の研究・教育の目的となります。そして、今日の教育やモラルの問題が、教養教育、人格教育の欠如にあるという認識のもとに、人類社会に貢献する人格の育成にも積極的に取り組んでいきます。

## 教育・研究の特色

人間と環境の関わりについて総合的に研究することを目的として、本研究科では、3つのアспектから研究・教育をすすめています。

第一のアспектは、現代社会が陥っている精神の危機的状況を分析し、その危機を克服していくことです。

第二のアспектは、科学技術や経済活動の発展と地球環境の保護といった対立する問題の解決に取り組み、豊かな未来を創出するために有効な方法を見出すことです。

そして第三のアспектは、人間がこれまでの歴史のなかで形成してきた技術、芸術、文学、思想などの文化環境を振り返って考察することです。

本研究科では、これらの3つのアспектに対応して、臨床心理研究指導分野、環境科学研究指導分野、および人間環境専攻共通科目によって、横断的かつ総合的な研究を可能にするカリキュラムが編成されています。学生は、研究指導を受ける教員が担当する演習・実習科目や講義科目を受講するだけでなく、各分野すべての科目を受講することによって、「人間環境学」を修めることになります。



## 人間環境学研究科

## 環境科学研究指導分野

## 環境問題に関する総合的な知識と洞察力を修得します。

環境科学研究指導分野では、環境を、人間の存在と諸活動の基盤になると同時に、その人間によってたえず形成されていくものであるという基本理解に立ち、教育研究を実践しています。したがって、環境とかかわる人間とその活動について深く理解したうえで、経済活動や、環境の評価、保全、リスク管理、それらを統括するデータアナリシス、さらには野生動物学や開発人類学など、問題の本質に目を向けた様々な研究を行っています。

こうした環境科学研究指導分野での学びにより、環境問題の科学技術、文化、政策、社会、経済などの諸側面がかかわる対立的な問題に対する総合的な知識と洞察力を身につけ、問題の本質を立体的に把握することができる人材となることが期待されます。修士課程修了後の進路には、環境科学分野の研究者になるために、他大学の博士課程、及び博士後期課程へ進学することがあげられます。また、地球環境や経済活動についての高度な知識を必要とする職業に就き、わが国の諸産業が直面する問題を解決していく道もあります。

**【授業科目】** 環境経済学特論、環境リスク管理演習、野生動物学特論、開発人類学特論、データアナリシス演習、環境保全特論、企業会計演習など（予定）

## 環境科学研究指導分野 | 教員紹介 (令和6年4月1日現在)



## 教授 磯貝 明

名古屋大学博士（経済学）。  
名古屋大学経済学部助手、日本学術振興会特別研究員（PD）、  
本学准教授を経て現職。博士学位論文「わが国における税効果  
会計の制度論的研究」。



## 教授 山根 卓二

京都大学博士（経済学）。  
学位論文「環境認識と経済理論」。環境経済学の様々なアプ  
ローチから豊かな自然・生活を実現する道について考える。



## 教授 薄井 智貴

名古屋大学博士（工学）。  
東京大学空間情報科学研究センター助教、名古屋大学グリーン  
モビリティ連携研究センター講師、名古屋大学大学院経済学研究  
科准教授を経て、2019年より現職。専門は交通工学、空間情報学。



## 教授 藤井 芳一

横浜国立大学博士（環境学）。  
人間環境大学人間環境学部卒。国立環境研究所アシスタント  
スタッフ、農業環境技術研究所契約研究員、人間環境大学  
環境教育センター助手、同助教を経て現職。専門は、土壤生物  
と物質循環、土壤生態毒性学。



## 准教授 谷地 俊二

横浜国立大学博士（環境学）。  
人間環境大学人間環境学部卒。農業環境技術研究所特別  
研究員を経て現職。専門は環境リスク学。水田農業の生物影響  
と環境中濃度について研究。



## 准教授 立脇 隆文

横浜国立大学博士（環境学）。  
兵庫県森林動物研究センター協力研究員を経て、2016年より  
現職。中大型野生哺乳類などの生態や保護・管理についての  
研究に取り組む。



## 准教授 西田 美紀

長崎大学博士（海洋科学）。  
同大学院博士研究員を経て、2018年より現職。イルカ類を対象  
とした社会生態学的研究に取り組む。



## 講師 小谷 博光

横浜国立大学博士（学術）。  
海外で野菜栽培指導（青年海外協力隊）や経済開発プロジェクト  
(国連ボランティア)に従事し、国際協力を実践。その後、横浜国立  
大学産学官連携研究員などを経て、2019年より現職。開発援助  
が与える人々への影響を研究テーマとしている。

## 臨床心理研究指導分野

### 臨床心理士・(国家資格)公認心理師の資格取得を目指します。

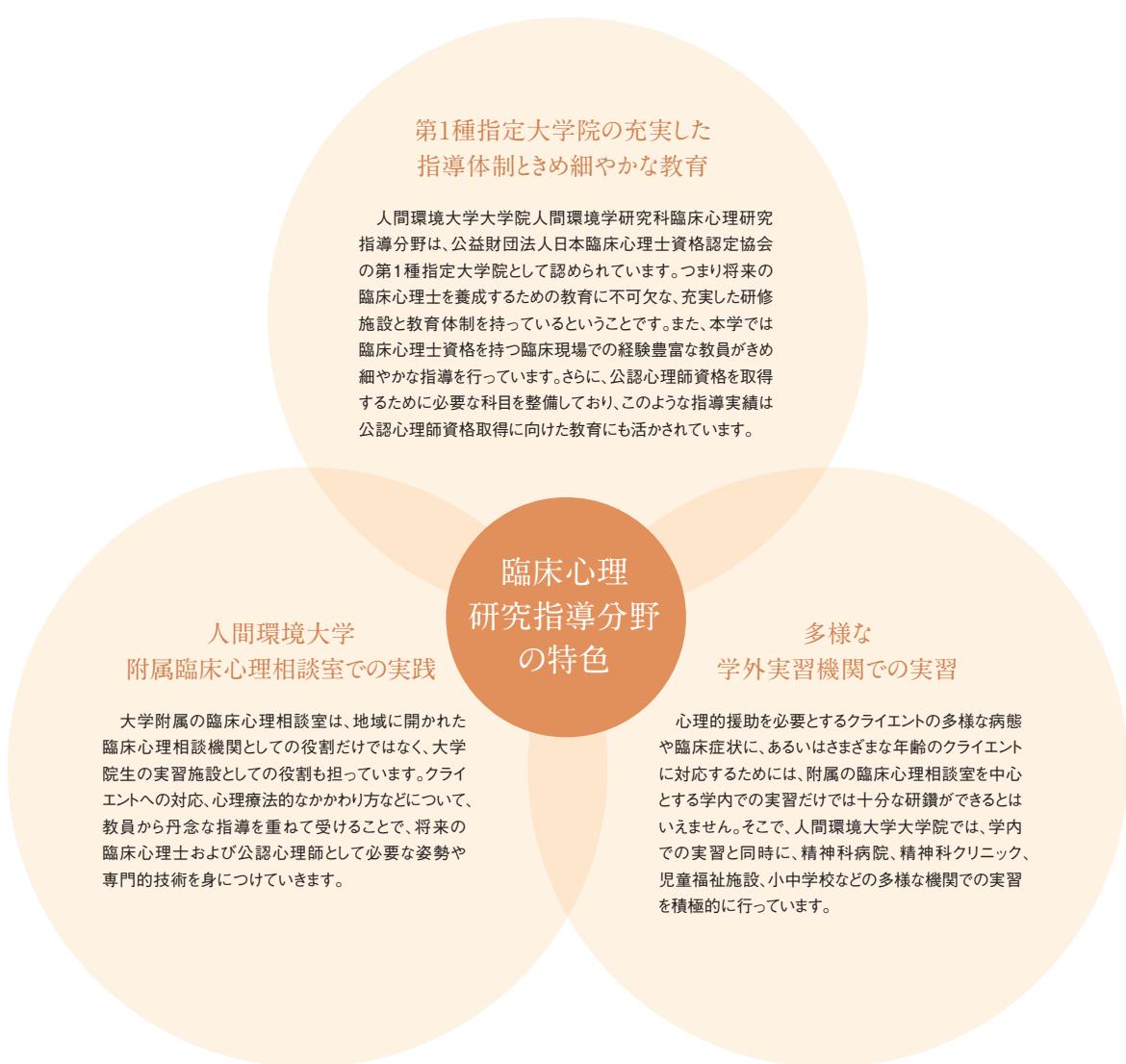
現代社会の危機は人間の精神の領域においても、いじめ、不登校、自殺、犯罪、そしてさまざまな精神疾患など、深刻な問題をもたらしています。この精神の危機状況に対して、人々の心を援助しようとする臨床心理学の研究と、その職業実践家としての臨床心理士の養成、および、心の健康の維持を担う公認心理師の養成は、現代の日本社会の切実な課題として求められています。

人間環境大学大学院人間環境学研究科の臨床心理研究指導分野では、臨床心理士資格認定協会のガイドラインに沿った科目編成がなされ、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院に認定されています。臨床心理の理論的支柱と専門的技法について学び、さらには心に対する深い洞察の大切さを探究して、大学院修了後は臨床心理士の資格取得を目指します。そして、専門的な臨床心理学的手法を身につけた職業人として、社会で活躍していきます。また、大学学部で所定の科目を修めて卒業した後、本研究科において所定の科目を修めて修了することで、国家資格である公認心理師の資格取得を目指すこともできます。公認心理師試験に合格し登録することで、国家資格を持つ心の専門家として社会に貢献していくことも期待されます。

### 研究コースで研究を深めます。

さらに、臨床心理研究指導分野に新たに設置された研究コースにおいては、認知心理学、社会心理学、犯罪心理学などの研究領域における最先端の研究を深めていくことができます。修士課程修了後、博士後期課程進学への道も開けます。

**【授業科目】** 臨床心理学特論、臨床心理査定演習I・II、心理実践実習A・B、認知心理学特論、社会心理学特論、犯罪心理学特論など（予定）





## 研究科長 教授 三後 美紀

臨床心理士・公認心理師。名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程単位取得満期退学。

職場のメンタルヘルスと人間関係に関する研究や、青年期における進路選択に関する研究に取り組んできた。近年は児童福祉施設職員のキャリア発達について関心を持っている。



## 教授 高橋 蔵人

臨床心理士・公認心理師。名古屋大学博士(心理学)。

精神科医療領域を中心に養護施設や産業領域でも心理臨床経験を積み重ねてきた。専門は心理療法、カウンセリング学。よりよい心理的援助のあり方を研究している。



## 准教授 坂本 真也

臨床心理士・公認心理師。人間環境大学大学院人間環境学研究科修了。愛知学院大学大学院心身科学研究科博士後期課程単位取得満期退学。

学校現場において、子どもをより効果的に援助していくため、SC・教員・保護者の連携・協働のあり方および必要性、さらに地域を含めた心理臨床の援助についても研究を進めている。



## 准教授 丸山 宏樹

臨床心理士・公認心理師。名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程単位取得満期退学。

私立大学の学生相談、公立小中学校のスクールカウンセラーなどの勤務を経て現職。臨床、発達、文化にまたがって実践、研究に取り組んでいる。



## 講師 二宮 有輝

臨床心理士・公認心理師。名古屋大学博士(心理学)。

専門は児童から青年期の心理臨床。子どもが考える幸せの概念、大学生のインターネット利用、大学生への心理的支援など、複数の観点から児童・青年期の研究を行っている。



## 講師 今井田 貴裕

臨床心理士・公認心理師。

甲南大学大学院人文科学研究科博士課程満期退学。

催眠やEMDR、ソマティックエクスペリエンシングなどのトラウマケアに関する実証研究と臨床実践を行っている。近年では、心身の状態を安定化する技法の開発を行っている。



## 助教 米澤 由実子

臨床心理士・公認心理師。名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程単位取得満期退学。

公立小中学校のスクールカウンセラー、精神科医療機関、児童養護施設での勤務を経て現職。子どもや保護者の心理支援、心理教育に関する研究に取り組んでいる。



## 教授 花井 しおり

奈良女子大学博士(文学)。

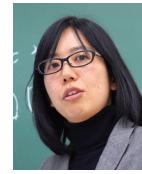
共著『セミナー 万葉の歌人と作品 第8巻』、『井手至先生古稀記念論文集 国語国文学藻』(和泉書院)、『万葉集一日一首』(到知出版社)など。



## 教授 岩島 行雄

日本大学文学博士。

専門は記憶と供述の心理学。事件に関わる供述者の供述の信用性評価法を、心理学の視点から研究している。また、現実の刑事事件における供述の評価のための鑑定を数多く手がけ、専門家証人として裁判でも証言してきている。



## 教授 吉武 久美

名古屋大学博士(心理学)。

行動や判断への社会的評価や個人特性などが、社会的行動の合意性推定に及ぼす影響について研究している。また、災害に備えた心理教育について共同研究を行っている。



## 准教授 西山 めぐみ

名古屋大学博士(心理学)。

専門は認知心理学。認知機能を支える記憶の性質(長期持続性、潜在記憶)とそのメカニズムについて、また、記憶がわたしたちの行動に及ぼす影響について、認知心理学的手法を用いて検討を行っている。



## 講師 鎌水 秀和

中京大学博士(心理学)。

明治学院大学助手、中京大学任期制講師などを経て現職。専門は認知心理学。顔の形態的特徴や表情を分析対象として、対人魅力や集団の印象形成、乳幼児の情動認知などを研究している。



## 講師 和田 剛宗

臨床心理士・公認心理師。東京都立大学人文科学研究科博士後期課程単位取得満期退学。東京都立大学専門研究員。

専門は、臨床心理学・心理療法。動機づけ面接、認知行動療法、臨床動作法などの言語的・非言語的アプローチに関する研究を行っている。



## 講師 柴田 一匡

臨床心理士・公認心理師。名古屋大学博士(心理学)。

児童養護施設にて心理臨床経験を積み重ね現職。臨床現場と研究の場を往還しながら、社会的養護を必要とする子どもの心理支援の実践と研究に取り組んでいる。



看護学研究科長  
篠崎 恵美子

研究者・教育者・管理者を育成する「総合看護教育機関」です。

看護学研究科には、博士前期課程、博士後期課程がありグローバル社会の中で社会貢献と自己実現を目指す研究者・教育者・管理者を育成する「総合看護教育機関」です。

博士前期課程では、看護活動現場の改善と改革を行い良質なサービスによる社会貢献を目指してリーダー・管理者・教育者として活躍できる人材を育成します。

博士後期課程では、卓越した研究能力をもって看護活動現場の変革と看護を実践科学として発展させる社会貢献を目指し、創造的で自立した看護研究者と教育者として活躍できる人材を育成します。

2020年4月には、「助産師養成課程」を愛知県内の私立看護系大学院で初めて開設しました。博士前期課程には「助産学実践コース(助産師養成課程)」があり、助産師を目指すことができます。博士後期課程では、より専門的に助産学について研究できます。

博士(看護学)。名古屋大学大学院医学系研究科博士後期課程満期退学。専門は基礎看護学。フィジカルアセスメント、コミュニケーション、模擬患者を研究のテーマとしている。

## 看護学研究科の教育理念

本学看護学研究科の教育理念は、深い学識及び卓越した能力を養い、高度にして専門的な学術の理論及び応用を学修し、その深奥を深め健康課題への取り組みを通して社会貢献と文化の発展に寄与することです。即ち、看護現場における変革と看護を実践科学として発展させることや社会貢献できる卓越した高度で専門性の高い人材を輩出することであり、博士前期・後期課程の共通理念の中核としています。

### 社会的ニーズに対応したカリキュラム

### 幅広い研究分野と専門領域での教育・研究(4分野8領域)

#### ■ 看護教育管理学分野

看護学を学ぶ人に効果的な教育をするために、どのような目的と方法でプログラム化し展開するかを追究して看護教育の改善・改革を目指します。また、複雑化・多様化する健康ニーズに対して看護現場の組織構造等の改善・改革、政策的提案方法等を追究します。

#### ■ 実践看護学分野

あらゆる対象におけるエンド・オブ・ライフを支援するエンド・オブ・ライフケア看護学領域と、人間を生涯発達する存在であるとらえる生涯発達看護学領域とで構成され、対象のさまざまな課題に対する支援を追究します。

#### ■ 広域看護学分野

地域看護学と国際保健看護学で構成され、全年齢を対象として、地域で生活する場を中心に行う看護と国際的な課題に取り組む広い視野で看護を捉え、包括的に支援できる高度実践者と研究と教育の方向から役割が果たせる人材の育成を目指します。

#### ■ 助産学分野

前期課程助産学実践コースでは正常分娩への高度実践、ハイリスク妊娠婦への助産ケアを学び、臨床への応用研究を行うことで修士(助産学)を取得します。後期課程では広く助産学理論の構築やエビデンスの創造ができる博士(助産学)の育成を目指しています。

#### 長期履修制度について

学生が職業を有している等の事情により、標準修学年限を超えて一定期間にわたり、計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度です。仕事などとの両立を図りながら修了をめざすことができます。詳細等は学生募集要項で確認してください。(助産学実践コース(助産師養成課程)を除く。)

分野名	領域名	博士前期課程の概要	博士後期課程の概要
看護教育管理学分野	看護教育学 領域 特論・演習	国民の健康ニーズに対し、効果的効率的に看護活動を進めることができるリーダー・管理者・教育者の育成を目指しています。今日の多岐にわたる看護基礎教育制度を概観し、それに至った歴史的背景、教育制度上の教育特性、教育の質向上のための教育内容・教育方法・教育環境等の諸課題に取り組みます。さらに、看護学における発展と社会に貢献する研究者を育成するための教育指導方法、教育評価、学修理論などを追究します。	看護学を実践の科学として発展させる新規性・活動的な独創性をもつ自立した研究者としての能力及び教育能力を持った高度な看護人材の育成を目指しています。看護学を学ぶ者に効果的な教育を実践するために、どのような目的と方法でプログラム化し、展開するかを追究します。すなわち、教育指導方法、教育評価、学修理論の構築・開発を追究することで、看護教育の改善・改革を目指します。
	看護保健管理学 領域 特論・演習	近年、地域包括ケアが推進されています。医療機関での臨床現場における看護管理のみならず、地域における継続ケアを視野にいた幅広い健康管理が求められています。これらのことと踏まえ、本領域名を看護保健管理学と命名しています。博士前期課程における研究では、主に地域医療の質向上にむけた看護実践の活動に結びつく課題に取り組むことが期待されます。	複雑多岐にわたる現代社会生活において、看護学のみならず看護学周辺領域の学問体系の考え方にもふれながら、医療の質とは何かを探求し、看護の質向上のための方策をみいだすことが求められています。博士後期課程の研究をとおして、組織や対象の特性を踏まえたプログラムの開発や、科学的な看護実践の探究が臨床現場や政策への提言に結びつくことが期待されます。
実践看護学分野	エンド・オブ・ ライフケア看護学 領域 特論・演習	総合的に質の高いエンドオブライフケアを提供するために、エンドステージにある患者と家族のケアニーズの特徴を理解し、QOLとQODD(Quality of Death and Dying)を高めるケア方法を検討します。また、エンドオブライフケアに関連する理論や概念を理解し、エンドオブライフケア看護学の科学的思考力と実践力の向上を目指します。	エンドオブライフケア看護学では、終末期ケア学研究やがん看護学研究で生成された理論・概念・モデルを基盤に、わが国の社会文化を反映したエンドオブライフケア看護学を探求します。さらに終末期におけるがん・非がんのあらゆる対象者の心身ニーズの対応、家族支援を含めた終末期患者のQOL・QODDを高めることに貢献できる研究力を育成します。
	生涯発達看護学 領域 特論・演習	人間の一生涯を発達のプロセスとしてとらえる生涯発達の観点から、現代社会の特徴が発達段階各期におよぼす影響や、発達段階各期の対象のさまざまな現代的課題を理解し、対象への質の高い看護実践の追究と適用を目指して、実践的な研究に取り組みます。	人間の生涯発達にかかるあらゆる課題を抱える対象への看護の質保証を重視し、グローバルで学際的な視点をもち、革新的で独創的なケアプログラム開発やケアシステムの開発などを行い、専門的で高度な実践と研究の相互発展によって、新たな知見を創造する研究に取り組みます。
広域看護学分野	地域看護学 領域 特論・演習	公衆衛生看護学の理論と実践技術を理論的に学習し、行政保健・産業保健分野・国内外の先駆的な活動実践例より地域に生活する人々の生活の質向上のための専門的な看護実践課題を探求します。在宅看護学の諸概念と在宅ケア利用者の満足度、リスク要因、意思決定支援、アウトカム評価の学習に併せて国内外の在宅ケアシステムを学び在宅看護の実践力を体系的に獲得します。	地域の人々の健康水準の向上を目指して、地域看護の実践と研究の相互関係的な進め方を講義と討論を中心として展開する。エビデンスに基づいた地域看護活動の方向性と地域看護活動課題を見出し、健康に関連する諸要因を明らかにし、課題解決に向けて具体的な行動に移せるよう地域の人々と関係者と協働してPDCAサイクルが回せるようになることをねらいとしています。
	国際保健看護学 領域 特論・演習	健康や看護にかかる国際的な問題をテーマにした研究を行います。特に前期課程では、世界のヘルスの基礎と日本を訪れている外国人のヘルスを学び、現地のフィールド、もしくは日本での調査から論文を完成します。さらに、将来、大学で国際保健看護学を教えることできるカリキュラムとしています。	国際的な健康や看護にかかる問題をテーマにした研究を行います。特に後期課程では、現地のフィールド、もしくは日本での調査から論文を完成します。英語の論文解説を充実させることを希望する者は英語論文投稿を目指します。さらに、将来、大学院で国際保健看護学を教えることできるカリキュラムとしています。
助产学分野	前期	助产学研究コースは、助産師の資格を持ち、実践現場の課題に対してリサーチマインドをもって探求します。分娩期における生物学的研究、周産期ハイリスクに対する支援、子育て支援等の課題に取り組みます。修了後は修士(助産学)の学位をもち、助産師のリーダー・管理者・教育者となり助産師の質の向上に貢献できる人材の育成を目指します。	助产学の研究者として、国内外において自立的に研究活動ができる人材を育成します。助産周辺の様々な課題に対して、グローバルな研究的視点をもって解決する研究能力と、他職種と連携協力し、優れたイニシアティブを持つ人間性を醸成します。広く助产学の発展に寄与できる理論の構築やエビデンスの創造や集積ができる博士(助産学)の育成を目指します。
	助产学 実践コース (助産師養成課程) 特論・演習・実習	助产学実践コースは、愛知県内の私立看護系大学で初めて開設した助産師養成課程です。エビデンスに基づく高度実践能力と、様々な現状を分析できる研究能力を備えた臨床助産のリーダーを育成します。助産師学校指定規則を2単位増やした33単位に加え、博士前期課程の修了要件30単位を修得します。修了後は修士(助産学)の学位をもち、イニシアティブをとれる助産師を育成します。	



## 研究科長 教授 篠崎 恵美子

学位 博士(看護学)

メールアドレス e-shinozaki@uhe.ac.jp



## 副研究科長 教授 伊藤 千晴

学位 博士(看護学)

メールアドレス c-ito@uhe.ac.jp



## 准教授 山口 貴子

学位 博士(看護学)

メールアドレス t-yamaguchi@uhe.ac.jp



## 准教授 服部 美穂

学位 博士(看護学)

メールアドレス m-hattori@uhe.ac.jp



## 講師 原 好恵

学位 博士(看護学)

メールアドレス y-hara@uhe.ac.jp

## 研究テーマ等

名古屋大学大学院医学系研究科博士後期課程満期退学。

専門は基礎看護学。基礎看護技術の根拠や教育方法、看護技術の習得・革新を研究テーマとしている。

## 研究テーマ等

名古屋大学大学院医学系研究科博士後期課程満期退学。

専門は基礎看護学、看護教育学。看護倫理を研究のテーマとしている。

## 研究テーマ等

名古屋大学大学院医学系研究科博士後期課程満期退学。

専門は基礎看護学。基礎看護技術、患者のアセスメントに関する研究テーマとしている。

## 研究テーマ等

人間環境大学大学院看護学研究科博士後期課程修了。

専門は基礎看護学。基礎看護技術の根拠や教育方法、看護技術の習得・革新過程を研究テーマとしている。

## 研究テーマ等

人間環境大学大学院看護学研究科博士後期課程修了。

専門は基礎看護学。注射技術のエビデンス、基礎看護技術に関する研究テーマとしている。



## 准教授 天野 薫

学位 博士(看護学)

メールアドレス k-amano@uhe.ac.jp

## 研究テーマ等

千葉大学大学院看護学研究科博士後期課程修了。

専門は、がん看護学、慢性看護学。研究テーマは、がん患者へのエンドオブライフケア、慢性疾患とともに生きる高齢者への統合ケア。



## 教授 深谷 久子

学位 博士(看護学)

メールアドレス h-fukaya@uhe.ac.jp

## 研究テーマ等

広島大学大学院保健学研究科博士後期課程修了。

専門は、小児看護学、新生児看護学。「NICUにおける子どもと家族のケア」「先天性疾患をもつ子どもと家族のケア」「出産と子どもに対する母親の反応」「子どもの療養環境」を主な研究テーマとしている。



## 教授 山根 友絵

学位 博士(看護学)

メールアドレス t-yamane@uhe.ac.jp

## 研究テーマ等

愛知県立大学大学院看護学研究科博士後期課程修了。

専門は老年看護学。在宅高齢者とその家族への支援、認知症高齢者への支援を研究テーマとしている。



## 教授 宮田 延実

学位 博士(心理学)

メールアドレス n-miyata@uhe.ac.jp

## 研究テーマ等

関西大学大学院心理学研究科博士後期課程修了。

専門は応用心理学特殊研究。学校で生じる児童生徒の問題事象を解明する研究に取り組んでいる。

## 実践看護学分野

## 生涯発達看護学領域

## 教授 杉浦 太一

学位 修士(数理学)  
メールアドレス t-sugiura@uhe.ac.jp



## 研究テーマ等

兵庫県立看護大学大学院看護学研究科博士課程満期退学。  
専門は、小児看護学。研究テーマは、アレルギーの子どもとその家族のQOL向上、障害のある子どもの家族サポート。

## 准教授 中神 友子

学位 修士(看護学)  
メールアドレス t-nakagami@uhe.ac.jp



## 研究テーマ等

名古屋市立大学大学院博士前期課程修了。  
専門は成人看護学(急性期)、心血管疾患患者のQOL、看護教育を研究テーマとしている。

## 広域看護学分野

## 地域看護学領域

## 教授 松原 紀子

学位 博士(看護学)  
メールアドレス n-matsubara@uhe.ac.jp



## 研究テーマ等

愛知学院大学大学院心身科学研究科博士後期課程単位取得満期退学。  
専門は学校保健・養護実践学。保健室来室者への支援、及び、子どもの体力を研究テーマとしている。

## 准教授 肥後 恵美子

学位 修士(看護学)  
メールアドレス e-higo@uhe.ac.jp



## 研究テーマ等

国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科博士課程満了。  
専門は在宅看護学。施設入所高齢者の終末期ケア、在宅療養者の代替医療に関する研究をテーマとしている。

## 助産学分野

## 助産学領域

## 教授 杉下 佳文

学位 博士(保健学)  
メールアドレス k-sugishita@uhe.ac.jp



## 研究テーマ等

神戸大学大学院保健学研究科博士課程修了。  
専門は母性看護学・助産学。「分娩進行における生物学的研究」「周産期のメンタルヘルスと子ども虐待予防」「胎児への愛着に関する介入」を研究テーマとしている。

## 准教授 水野 祥子

学位 修士(助産学)  
メールアドレス s-mizuno@uhe.ac.jp



## 研究テーマ等

国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科修士課程修了。  
専門は母性看護学・助産学・院内助産における助産師の労働環境と助産ケアの評価、地域子育て支援を研究テーマとしている。

## 共通科目

## 准教授 西 由紀

学位 博士(医学)  
メールアドレス y-nishi@uhe.ac.jp



## 研究テーマ等

岐阜大学医学研究科形態系専攻博士課程修了。  
専門は肉眼解剖。上皮小体の微細構造の比較解剖、ヒトの血管・神経・筋の変異を研究テーマとしている。

## 講師 正司 孝太郎

学位 博士(心理学)  
メールアドレス k-shoji@uhe.ac.jp



## 研究テーマ等

ウィスコンシン大学ミルウォーキー校博士課程社会・健康心理学専攻修了。  
トラウマ体験への適応、虐待を受けた子どもの社会的適応の促進や学業の問題の軽減に関するなどを研究テーマとしている。



松山看護学研究科長  
河野 保子

保健・医療・福祉、及び教育現場における看護の実践リーダー、研究能力を有す教育者、自立した研究者として貢献できる人材を育成します。

松山看護学研究科は、複雑多様に変化する社会の中で次世代の看護を先導でき、他職種と協働して健康課題を解決できる研究者・教育者・看護実践リーダーを育成します。そのため博士前期課程(修士号取得)では、看護師・保健師以外の保健・医療・福祉職をも含めて、質の高いケアを探究できる人材を育成します。また博士後期課程(博士号取得)は、自立した研究者・教育者として社会に貢献できる人材を育成します。なお社会人が働きながら学べるよう平日の18時以降、土・日曜日の開講等を設けています。

博士(医学)。専門は基礎看護学、高齢者看護学。研究内容は看護師の自己効力感とキャリアアップ、看護職とアサーション、医療における患者の権利、患者の日常生活活動とQOL、看護実践と倫理的意思決定である。

## 松山看護学研究科の教育理念

松山看護学研究科の教育理念は、「人々の健康課題を看護の視点で探究し、人間・社会に貢献する看護」であり、そのため博士前期課程では、健康上の課題や看護の問題解決・改善に向けて研究的な視点で取り組むことのできる高度な看護実践者・管理者・教育者の人材育成に取り組みます。また博士後期課程では、健康関連の課題に対して、臨床指向型・患者中心型で、対象の尊厳とQOLを看護的視点で追究し、自立した研究者・教育者の育成に取り組みます。

看護学研究科

### 博士前期課程

設置概要

◆ 修業年限:2年 ◆ 入学定員:5名 ◆ 学位:修士(看護学)

高度な看護の実践者・管理者・教育者を育成します。

〈専門科目・領域〉

#### ■ 基盤看護学領域

看護教育学や実践基礎看護学に関する基礎的概念を学び、看護教育発展のための効果的な教育方法を追究するとともに、科学的根拠を踏まえた生活支援技術の方法を構築します。

#### ■ 発達看護学領域

母子や家族の健康問題をグローバルヘルス、生涯発達の視点から探究し、最善の看護について考究します。また救急医療における的確な臨床推論力を発展させ、臨床への還元能力を育成します。

#### ■ 広域看護学領域

地域で暮らすあらゆる人々への保健医療福祉、看護と介護の質を高めるための地域看護の方向性を探究します。また精神看護の課題解決や超高齢多死社会におけるエンドオブライフケアを追究します。

看護学研究科

### 博士後期課程

設置概要

◆ 修業年限:3年 ◆ 入学定員:3名 ◆ 学位:博士(看護学)

看護学を実践科学として発展させるために、自立した研究者・教育者を育成します。

〈専門科目・領域〉

#### ■ 看護実践開発領域

基盤看護学・リプロダクティブヘルス看護学・小児看護学・成人看護学の開発のために、各ライフステージにおける高度な看護実践方法や教育方法の探究を通して看護理論を構築し、看護学の新たな知の創造を目指します。

#### ■ 地域包括ケア領域

地域包括高齢者看護学・地域包括精神看護学・地域包括在宅ケアの開発のために、高齢多死社会における生命の尊厳と人々の生活の質を探究し、健全な地域社会の健康システムのあり方を追究し、看護学の新たな知の創造を目指します。

## 松山看護学研究科 | 教員紹介 (令和6年4月1日現在)



研究科長 教授 河野 保子 y-kawano@uhe.ac.jp

博士(医学)。愛媛大学。  
専門は基礎看護学、高齢者看護学。研究内容は看護師の自己効力感とキャリアアップ、看護職とアサーション、医療における患者の人権、患者の日常生活活動とQOL、看護実践と倫理的意思決定である。



副研究科長 教授 別宮 直子 n-bekku@uhe.ac.jp

博士(医学)。  
愛媛大学大学院医学系研究科博士課程修了。  
専門は精神看護学。精神疾患をもつ対象者のセルフコントロールに向けた支援、精神疾患をもつ対象者と家族への支援、精神科における倫理的課題解決を研究テーマとしている。



教授 三並 めぐる m-minami@uhe.ac.jp

博士(学術)。  
愛媛大学大学院博士課程修了。  
専門は小児看護学と学校保健学。研究内容は子どもが生涯無煙環境で育つための家族支援、タバコフリーの実現と喫煙防止教育、養護教諭の危機管理力を高める実践研究である。



教授 佐伯 由香 y-saeki@uhe.ac.jp

医学博士。  
筑波大学大学院博士課程医学系研究科修了。  
専門は看護生理学。看護技術の効果のエビデンスを生理学的手法を使用して検証する。また、補完代替療法の効果を同様に検証し、医療・介護の現場での応用の可能性を探求している。



教授 岡 多枝子 t-oka@uhe.ac.jp

博士(社会福祉学)。  
東洋大学大学院社会福祉学研究科博士後期課程修了。  
専門は保健福祉医療専門職連携教育(IPE)、家族社会学。研究内容は性と健康教育、特性ある子どもの支援、終末期の質(QOD)、健康寿命と予防医学、KJ法指導法等である。



教授 赤松 公子 k-akamatsu@uhe.ac.jp

博士(保健学)。  
岡山大学大学院保健学研究科博士後期課程満期退学。  
専門は基礎看護学、高齢者看護学。しづれのアセスメントツールの開発、ケア技術の検討、尺度開発、QOLの向上、セルフケア支援に関する内容を研究テーマとしている。



教授 高田 律美 n-takata@uhe.ac.jp

博士(医学)。  
愛媛大学大学院医学系研究科博士課程修了。  
専門は母性・小児・国際看護学。研究テーマは「睡眠」、「乳幼児の予期せぬ突然死予防」、「フレコンセプションケア」、「途上国の周産期」他、疫学研究などの母子研究を研究テーマとしている。



特任教授 本田 和男 k-honda@uhe.ac.jp

博士(医学)。  
京都大学医学部卒業。京都大学大学院医学研究科修了。  
専門は外科学専攻(消化器、乳腺)、癌の遺伝子解析、癌の化学療法・遺伝子治療である。



教授 中島 紀子 n-nakajima@uhe.ac.jp

博士(医学)。  
愛媛大学大学院医学系研究科医学専攻博士後期課程修了。  
専門は基礎看護学。研究内容は、看護基礎技術に関するエビデンスに関するテーマ、また限界集落地域における健康生活を維持するための社会的取り組みについて等である。



教授 羽藤 典子 n-hato@uhe.ac.jp

博士(医学)。  
愛媛大学大学院医学系研究科博士後期課程修了。  
専門は小児看護学。研究内容は、働く母親の病児保育の利用に関する子育て支援、学童期と思春期の女性に焦点をあてた冷え関連症状の緩和を目指した基礎的研究である。



准教授 田中 正子 m-tanaka@uhe.ac.jp

博士(看護学)。  
広島文化学園大学大学院看護学研究科博士後期課程修了。  
専門は在宅看護学。医療依存状況にある在宅療養者及び家族の生活状況、葛藤、QOL向上、自己効力感、生活満足度、ストレス等を研究テーマとしている。



教授 宮崎 博子 h-miyazaki@uhe.ac.jp

修士(臨床心理学)。  
宇部フロンティア大学大学院人間科学研究科修士課程臨床心理学専攻修了。  
専門は公衆衛生看護学。精神障害者への生活支援、精神障害者の家族支援、児童虐待防止のための保護者支援、地域で生活する高齢者の健康づくりを研究テーマとしている。



講師 渡辺 小百合 s-watanabe@uhe.ac.jp

修士(看護学)。  
高知県立大学大学院看護学研究科修了。  
専門は看護管理学で、認定看護管理者として次世代の管理者育成を基盤に、臨床現場での看護上の問題解決を実践している。現任者教育、主に新人教育・リーダー育成を研究テーマとしている。

### ■ 事前面談

入学を希望される場合には、出願前に研究内容等について教員との事前面談を実施いたします。上記メールアドレスにご連絡ください。

### ■ 学内奨学金制度

学内奨学金制度があり、社会人学生も支援します。

### ■ 入学資格審査\*

出願資格は、入学資格審査における認定も可能です。  
多様な学生を受け入れます。

### ■ 長期履修制度\*

夜間や土日にも授業を開講していますので、働きながら学べます。

\*詳細は学生募集要項でご確認ください。

# 令和7年度人間環境大学大学院 入学試験

学生募集要項は本学ホームページよりご確認ください。

## ■ 人間環境学研究科人間環境専攻（修士課程）

方式	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
I 期	令和6年9月11日(水)～9月25日(水)	令和6年10月12日(土)	令和6年10月17日(木)	令和6年10月31日(木)
II 期	令和7年1月20日(月)～1月30日(木)	令和7年2月17日(月)	令和7年2月20日(木)	令和7年2月28日(金)

## ■ 看護学研究科看護学専攻（博士前期課程）（博士後期課程）

方式	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
I 期	(入学資格審査申請期間) 令和6年8月1日(木)～8月19日(月)		(入学資格審査結果通知) 令和6年8月29日(木)	
	(出願期間) 令和6年9月1日(日)～9月9日(月)	令和6年9月16日(月・祝)	令和6年9月19日(木)	令和6年10月3日(木)
II 期	(入学資格審査申請期間) 令和6年10月7日(月)～10月15日(火)		(入学資格審査結果通知) 令和6年10月24日(木)	
	(出願期間) 令和6年11月1日(金)～11月13日(水)	令和6年11月23日(土・祝)	令和6年11月28日(木)	令和6年12月12日(木)
III 期	(入学資格審査申請期間) 令和6年12月2日(月)～12月10日(火)		(入学資格審査結果通知) 令和6年12月19日(木)	
	(出願期間) 令和7年1月4日(土)～1月14日(火)	令和7年1月26日(日)	令和7年1月30日(木)	令和7年2月19日(水)

## ■ 松山看護学研究科看護学専攻（博士前期課程）（博士後期課程）

方式	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
I 期	(入学資格審査申請期間) 令和6年8月19日(月)～8月26日(月)		(入学資格審査結果通知) 令和6年9月5日(木)	
	(出願期間) 令和6年9月9日(月)～9月17日(火)	令和6年9月29日(日)	令和6年10月3日(木)	令和6年10月17日(木)
II 期	(入学資格審査申請期間) 令和6年9月24日(火)～10月7日(月)		(入学資格審査結果通知) 令和6年10月17日(木)	
	(出願期間) 令和6年10月21日(月)～11月5日(火)	令和6年11月17日(日)	令和6年11月21日(木)	令和6年12月5日(木)
III 期	(入学資格審査申請期間) 令和7年1月6日(月)～1月14日(火)		(入学資格審査結果通知) 令和7年1月23日(木)	
	(出願期間) 令和7年1月20日(月)～1月30日(木)	令和7年2月16日(日)	令和7年2月20日(木)	令和7年3月3日(月)

## ACCESS 交通アクセス

